

平成24年第4回江差町議会臨時会資料

資料1：北限のヒバの森づくり推進事業【議案第1号関係】	P	1
資料2：北海道新幹線開業を見据えた観光資源再構築事業【議案第1号関係】	P	3
資料3：檜山南部花卉生産振興安定化事業【議案第1号関係】	P	5

事業名：北限のヒバの森づくり推進事業（地域づくり総合交付金事業）

事業目的：当町は、ヒバの北限の地であり、古くからニシンとヒノキアスナロ（ヒバ）材の貿易により繁栄した町であり
ますが、伐採等により減少傾向にあります。

このため、ヒバ山の再生に向けた各種の事業を展開し、地域の環境保全と経済の活性化に資することとする。

①北限のヒバを活用した商品開発

②北限のヒバ林の復活を目指した植林・育林事業等の実施

③町民の憩いの場として「森」の整備を実施し、環境保全や健康増進等に寄与する。

総事業費：1,800千円

補助率：2分の1

事業委託先：檜山南部森林組合

事業費内訳

事業の内訳	事業費	交付金(1/2)	場所	事業内容	
北限のヒバを活用した商品開発	1,800,000	872,000			
ヒバ挿木用床づくり	210,000		馬場山	ヒバを挿木から苗をつくるための苗場づくり。挿木の苗を増やすことにより、苗代が不要となる。（根づくまで2年程度）	
ヒバ補植	760,000		東山・桧岱	ヒバ植樹箇所の補植。	苗代342
ヒバ天然林調査	320,000		東山・桧岱	ヒバの天然林の本数調査。	
ヒバ葉土産品研究	260,000		馬場山	枝打ち等による不要となる葉を利用。 ①袋詰にして土産品とする。（消臭効果） ②刺身、魚介類の贈り物などの下敷きに利用（見栄え・殺菌効果） ③葉をネットに入れ入浴剤等に利用（美肌効果） ④靴に入れる（消臭効果） など研究をして今後の商品化に向けた取り組みを実施。 ※研究にあたっては政策推進課を通じ研究施設に依頼も検討 ※葉の採取については、子供たちに手伝ってもらう。（体験学習）	袋代 謝礼
ヒバ生息地保育	250,000		田沢町	ヒバ植樹箇所の刈り出し（下刈）。	

北海道新幹線開業を見据えた観光資源再構築事業

【平成24年度地域づくり総合交付金（地域再生加速事業）】

実施する事業のメニュー

歴史・文化等体験民泊調査事業

江差町が保有する北海道でも独自で貴重な歴史的文化、さらには地元民の日常食（地元食材）といった食文化を体験することができる民泊システムを構築し、訪問者に「本当の江差」を体感してもらうことで、地域に愛着をもってもらい、また訪れたい町を目指すもの。

- ・体験民泊調査委員会による調査事業
- ・実証実験（江差追分全国大会において、体験民泊を実験的に実施）

○事業費：361千円

予算科目：観光費

きれいなまちづくり事業

観光施設が点在し、フットパースコースでもある「いにしえ街道」や「開陽丸周辺」の空地や斜面地など人目に触れやすい場所への植花・ポケットパーク化や、地域が一体となった清掃活動、写真や絵画等の展示など様々な景観形成事業を実施し「きれいなまち江差」を目指すもの。

- ・植花事業（開陽丸入口周辺の整備予定）
- ・クリーン事業（地域一体での環境美化）

○事業費：463千円

予算科目：都市整備費、環境衛生費

タブレットを活用した観光案内システム開発

主要な観光施設に町の情報がわかるタブレット（電子情報機器）を配置し貸出し。訪問者は、タブレットの情報をもとに町内を巡回できるため、修学旅行はもちろん、少人数の観光客にも対応可能。また、観光施設の従事者も説明等に利用することができるため、幅広く活用できる。

- ・情報システムの開発 1,124千円
- ・タブレットの整備 116千円

○事業費：1,240千円

予算科目：観光費

事業名: 檜山南部花卉生産振興安定化事業(地域づくり総合交付金事業)

目 的: 檜山南部地区の振興作物であり、高収益作物である花卉の生産に必要なハウスの整備に係る諸経費の整備である。

これにより、水田を中心とした複合経営の安定が見込まれ、また、季節や行事ごとに確実に需要のある花卉の生産振興をすることにより
農業所得の向上と生産の安定を図る

総事業費: 15,000千円 補助率: 2分の1(間接補助)

補正額: 7,500千円

補助先: 檜山南部花卉振興会

整備内訳: 江差町 14棟 厚沢部町 7棟 合計21棟

【設置箇所図は江差町分のみ】



